

発行日 2001年4月1日
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@shizuokanet.ne.jp

こおるま

3月24日から4月1日までの9日間、お茶の水女子大の楡木教授とサンフランシスコとシアトルに行ってきた。

今回の渡米の目的は、今、アメリカの学校で行われている「生徒の暴力と攻撃的行動を抑止、減少させるプログラム」の中で、最も効果があると認められているプログラム「セカンド・ステップ」の内容を学び、実施している学校を直に見て来ることと、「Mental Research Institute」で「ブリーフ・セラピー」を学んでくることでしたが、今回一番強く感じたのは、アメリカの学校の「ゆとり」でした。

「ゆとり」のある教育

教室では、各教科、能力別に別れたクラス（22～3人の生徒）に、1人もしくは2人の先生が入って授業をしていたのですが、日本の学校では考えられないほど生徒と近い距離で授業が行われていたのです。

アメリカに住み、その学校に子供を通わせている日本人の先生にお話を伺ったのですが、その方から見ると『日本の教育は「平等」という名の「不平等」だと思ふ』と言っていました。

アメリカでは、幼稚園から小学校に上がる際にも、3月生まれなどの理由で他の子供より成長が劣っていて、今、同級生と一緒に小学校に上がると、本人に負担が大きいと判断したときは、学校と親とが話し合って一年幼稚園を留年させ、一年後に「リーダー」として進学することを目指すのだそうです。

ところが日本では、同じ年に生まれた子供は、同じように進級し、同じ内容の授業を受けるという「横並び」の意識が強いので、人より遅れるということに抵抗が強く、能力別のクラス編成など、その子の「今の実力」にあった教育を受ける環境が作られていないように思うと言うのです。少し考えると「皆が同じ教育」というと「平等」のようですが、確かにそれはとても「不平等」なことなのかもしれません。

更に興味深かったのは、『高校を卒業する時の能力は、アメリカ人より日本人の方が高いのに、大学を終えた時はアメリカ人の方が高くなっているのは、日本の大学が「入りやすく、出易い」という理由もあると思うが、アメリカの教育が目指しているのが「社会に出てどうか」なのに対して、日本は「学校にいる時どうか」が目目になってしまっている気がする』と言っていた点でした。

こうした違いについて聞くと、『この違いは完全な実力社会かどうかから来ていると思います。アメリカの社会は完全な実力社会であるため、実力がなければどんなに有名な大学を出てもどうにもならないのです。だから、卒業証書より実力を必要とするのです。』と言っていました。

こうした教育に対する考え方を裏付ける一つの例として印象的だったのは、学校のテストの採点を、生徒の親が家でやることがあるという点でした。いくらボランティアと言っても、もし日本で実施したら、他の子の成績と自分の子の成績を比較してさらにプレッシャーになると思うのです。

日本では「教科書の3割をカットする」という方法で「ゆとり」のある教育を実現しようとしています。総合学習、環境問題など、学校の先生方に求められる課題は山積し、保育園などでも、一人の先生が20人以上の幼児を見ているのが実態です。こうした中、教科書をカットしたら、子供達へのかかわりが増え、質を落とさずに「ゆとり」を持った教育が可能になるのでしょうか？

そんなことを考えながら在来線に乗ろうとすると、たまたま混んでいたのかもしれませんが、大勢の人がホームに並んでいて、電車のドアが開いたとたん、何人もの人が我先に電車に乗り込み、席を必死に奪っているのです。「そんなに座りたいのでしょうか？」

こんなに便利に、豊かになったのに、それでもまだ「ゆとり」がないのだとしたら、本当に悲しいことだと思いました。

☆☆ お便りコーナー ☆☆

経営勉強会ではお世話になりました。杉井さんとお付き合いさせて頂いて3年になりましたが、このところ信じられないことが続いています。これまでは一生懸命営業していても、なかなか相手にもしてもらえないことが多かったのに、先日、突然知人のオーナーがお見えになり、いきなり現金一千万と保険証書を差し出したので「全て任せるからよろしく頼むよ」と言ってくれたのです。また、今回は県内でも有名なゼネコンから「君たちとお付き合いしたい」と大口の契約を頂きました。今現在も数社から保険の見直しを依頼されているのですが、そのどれもが「一生懸命苦勞して」と言うより「お客様から応援していただいて」というのが本当のところなのです。会社の苦しい時に杉井さんと出合っ、CLを受講し、お礼の葉書や朝の掃除を皆で続けているうちに、いつの間にか会社が変わり、皆さんから応援してもらえるようになっていた気がします。私を信じて来てくれた社員さんに感謝をすると共に、この信頼を裏切らないように頑張っと思っています。本当にありがとうございます。

安心サービス 天野 績男

プチ紳士（淑女）同盟

「大志を抱け！」で有名な札幌農学校のクラーク博士が生徒達に言い続けたことの一つに「ビー・ジェントルマン（紳士たれ）」があったそうです。

この「紳士（淑女）」という言葉、今の言葉に言い換えると「大人」ということになるかもしれませんが、最近では自分のことしか考えず「後のこと」「他人のこと」を考えない人が増えていて、「紳士（淑女）」と呼べる大人が減っている気がします。

そんな中「小さなこと」で結構ですので、「おっ紳士（淑女）的」と思える人を見かけたら、是非ご紹介下さい。私の知人の杉浦康司さんが本にまとめようとしています。

例えば、エレベーターを降りる時に、他のお客様のために「閉じる」のボタンを押していく人ですとか、合流地点で相手の方に笑顔で道を譲る人などで構いません。そうしたことを探しているうちに、私達もそうした人に近づいていくと思うのです。

皆さんからの、情報をお待ちしています。

今月の活動情報

お問い合わせはお電話で...

日程	内容	主催者・会場
4 / 3 [火]	西部カウンセリング講座2	(地場産業振興センター)
4 / 4 [水]	東部カウンセリング講座4	(沼津市原地区センター)
4 / 4 (水)	山梨CL勉強会	(山中湖安心サービス)
4 / 7~8	経営塾	(焼津青少年の家)
4 / 17 (火)	西部カウンセリング講座3	(地場産業振興センター)
4 / 21~22	マネージメント・ゲーム	(清水青年会議所)
4 / 24~25	新入社員研修	(東海ガス)
4 / 28 (土)	小澤隆弘・片川知香 結婚式	
5 / 2~6	CLインストラクター養成講座	(山中湖 清浜)

東京での講演会のご案内

演題 「心が軽くなる生き方」

日時	5月19日(土) 18時~20時
場所	ホテルベルクラシック (JR山手線 大塚駅より徒歩1分)
会費	2,000円
連絡先	吉野友理枝 (03) 3592-9211 (会社) E-mail yuyoshin@r.recruit.co.jp
	高浦 正光 (03) 5950-1404 (会社) E-mail sekou@hotel-bellclassic.co.jp